

提出順	15	発言順	15	令和3年6月/日
				(午前)・午後 10 時 17 分受領

(2枚中No.2)

令和3年6月1日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員 増田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	エネルギーの地産地消で域内経済循環と脱炭素化を ～自治体新電力にチャレンジ～		
質問の要旨 (具体的に記載してください)			
<p>持続可能なまちづくりは、食糧自給、エネルギー自給、域内での経済循環が必要だと考える。エネルギーの地産地消で域内経済循環と脱炭素化を進める自治体新電力にチャレンジできないか。二手先、三手先の安曇野市のまちづくりを議論したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 新電力の切り替えにおけるコスト削減効果 2, 地域新電力、自治体新電力で地域内の経済循環を 3, ゼロカーボンをどのように進めるのか。環境政策としての自治体新電力を。 4, 新しい価値を創造する自治体新電力のチャレンジ 			